

指定管理業務総合評価票

施設名	三豊市緑ヶ丘総合運動公園
指定管理者名	学校法人四国学院
施設所管課	三豊市教育委員会事務局スポーツ振興課
調査日時	令和 6 年 5 月 31 日（金）：9 時 00 分～12 時 00 分

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	B	B
	人員体制	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	B	B
		スタッフのシフトは適正であるか	B	B
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	B	B
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	B	B
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	B	B
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	B	B
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	B	B
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	B	B
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	B	B
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等をおこなっているか	B	B
		避難経路は適切に確保されているか	B	B
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	B	B
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	B	B
		個人情報保護に関する規定が整備されているか	B	B
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	B	B
	情報公開	情報公開に関する規定が整備されているか	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	B	B
	【1 総括】	実施体制に関する評価（標準 19 項目・本施設 19 項目）	B	B
	指定管理者の自己評価	今年度は新たなメンバーも加え、昨年に引き続き日中 2 人体制、夜間 1 人体制で実施しており、トイレ等の清掃箇所が増えたものの、事務所での対応も行いながら、清掃等の業務も行えている。月 1 回のスタッフミーティングにおいても、課題や気づき等も全員で共有することにより、状況把握と共通認識を持って適切な運営に努めた。		
	施設所管課の評価	適切な人員配置を行い、受付業務以外の業務（清掃等）も実施しながら、円滑な管理・運営ができています。		
2 サービス等の内容や水準	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	B	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	B	B
	利用案内	ホームページ、パンフレット等は見やすく、適宜更新されているか	B	B
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	B	B
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	B	B
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	B	B
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	B	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	B	B
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	B	B
		参加促進への取組みを積極的に実施しているか	B	B
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	B	B
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	B	B
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	B	B
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	B	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	B	B
		仕様書等に従い、施設、設備の点検・管理を適切に行っているか	B	A
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	B	B
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	B	B
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	B	B
	【2 総括】	サービス等の内容や水準に関する評価（標準 19 項目・本施設 19 項目）	B	B
	指定管理者の自己評価	アフターコロナとなり、利用者数は増えている印象であり、トレーニングルームについては特に夜間等が増えている。トレーニングルームの暑さについては、遮光フィルム及びスクリーンで対策を行った。平日の夕方及び夜間、土日はほぼ埋まっている状況である。平		

		日の午前及び日中の利用については依然として難しい状況であることから、他団体との連携事業等を念頭に引き続き模索していく。清掃等に関しては適切に行っている。		
	施設所管課の評価	利用者の意見や要望を設備に反映させるための様々な工夫と適切な対応ができている。引き続き利用者の利便性の向上と利用促進に努められたい。		
3 収支等	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	B	B
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	B	B
	予算執行	収支計算書に則し、適正に予算を執行しているか	B	B
	経費節減	計画どおりの経費節減の取組み、またはその他の取組を実施し、その効果があったか	C	C
	収支状況	事業収支は妥当であるか	B	B
	【3 総括】	収支等に関する評価（標準5項目・本施設5項目）	B	B
	指定管理者の自己評価	今年度はアフターコロナにより利用自体は活況であったものの、主に電気代・物価の高騰等により、最終は赤字となった。カマタマーレトップチームが宝山湖をメイン練習場所としたことで利用料が減ったが、代わりに地域団体の利用で何とかカバーされ、大幅な収入減は抑えられた。ただ、指定管理料に含まれる修繕費・備品費（年間 300 万）として使用しなければならない費用はこの3年で約 150 万が未使用であり、残り2年間で計 750 万を執行しなければならないことから、計画的に備品等を検討する必要がある。		
	施設所管課の評価	前年度に比べアリーナやトレーニングルームにおける収入は増加しているが、サッカー場とスタジオについてはそれほど増収していない。引き続き利用促進に努め、利用者の増加と収支の改善に努められたい。		
【4 総合評価】		1～3の項目の総括による総合評価	B	B
(提案・成果・課題等)	5 その他特記事項			
	指定管理者	全体としては、電気代・物価等の高騰により収支は赤字となった。更なる収入増は厳しい中、次年度以降も高騰の継続あるいは更なる高騰も予想されるため、体育館の改修と同様に、サッカー場照明のLED化等、経費節減に直結した改修等をしていただきたい。平日日中の利用促進については、他団体等との連携の中で探っていきたい。今後、部活動の地域移行が現実化していく中、既に同利用時間帯がほぼ満杯であることから、既存利用団体と新規利用団体との共存方法あるいは安全対策については、大きな課題と感じている。		
	施設所管課	運営にかかる経費（電気代等）は依然として高騰したままであり厳しい状況が続いている。運営費を削減するための改修等について長期的な目線に立って検討する必要があると考えている。利用を希望する団体間の調整については難しい面もあるが、利用調整を行うなどして粘り強く対応していただきたい。		

※評価区分

①評価基準	A（優良）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。 B（良好）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。 C（課題含）：協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 D（要改善）：協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な内容である。
②【総括】	A（優良）：評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である。 B（良好）：評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である（上記以外）。 C（課題含）：評価基準がすべてC以上である（上記以外）。 D（要改善）：評価基準にDが含まれている。
③総合評価	A（優良）：【総括】がすべてB以上であり、かつAが2つ以上である。 B（良好）：【総括】がすべてB以上である（上記以外）。 C（課題含）：【総括】がすべてC以上である（上記以外）。 D（要改善）：【総括】にDが含まれている。